

教育目標 ぶるさとを愛し、夢に向かって頑張る子どもの育成へえがお・げんき・いのち輝く東っ子

東小だより

神無月号



文責 校長 田崎正明

秋の深まり

朝夕の肌寒さに季節の変化を感じます。収穫の秋は物心とも得るものが多い時期でもあります。先日は、久玉八幡宮の大祭が執り行われ、三年ぶりに行列が実施されました。本校も立寄処となり、運動場で獅子舞が披露され、多くの方々が参観されました。「お祭」には、ワクワクと高揚感を抱きます。心が躍ります。一体感やふるさとも見直し、誇りを抱かせるものがあります。お祭に参加した東っ子もきつと心がほかほかしたことでしょう。「秋に得るもの」はこんなところにもあると感じた時間でした。本年度も半ばを過ぎました。教育の取組を中間評価し、その成果と課題をもとに下期に臨みたいと考えます。今後ともご理解とご支援のほどよろしくお願い致します。



行列には、多くの子供たちが参列していました。とても凛々しく、そして、満足気な表情に映りました。

収穫「お世話になりました」

芋ほり体験活動を行いました。一年生から四年生が参加しました。今回の活動は、吉田区長さんのお力添えにより実現したものです。会場の吉田公園は、区民の方々が自力で開墾され、集会施設や調理場、そして畑を有しています。高台にあり、津波等の避難所としても利用されているものです。当日は、たくさんの方々がご支援に参場され、笑顔の中で交流と収穫を行いました。落花生も収穫させていただきました。東っ子が土に触れ、自然と親しむ貴重な時間を過ごすことができました。お世話になった方々に心よきお礼申し上げます。お芋、おいしくいただきます。本校は、地域の方々の教育への思いによる手厚い学校支援をいただいております。そのご厚意を生かし、更なる教育の充実を目指してまいります。



地域のみなさん、たくさんのお芋と落花生、そして、思い出をありがたうございました。とてもおいしかったです。

命を守る「マイ・タイムライン」

防災学習の一環で、六年生がマイ・タイムラインの作成に取り組みました。防災主任（養護教諭）と担任とのチームティーチングで授業を行いました。マイ・タイムラインとは自分の防災行動計画です。災害時に自分自身が取る防災行動を時系列的に整理し、自ら考え、命を守る避難行動のための一助とするものです。授業では、市で作成されたハザードマップを用いて、自分の様々なリスクを知って、どんな避難行動が必要か、また、どういうタイミングで避難することが良いのかを考えました。



担任と防災主任とのチームティーチング 避難場所の位置、経路をマップで確認



十一月は、シエイクアウト訓練、地震・津波火災避難訓練を計画しています。その訓練には小中合同で取り組みます。また、人権月間を設定し、個人の権利尊重を重んじながら仲間づくりを深めていきます。各取組を通して学校生活を教材にしながら命を見つめ、命の認識を深めていきます。その認識が土台となり、他者の命の存在を意識し、尊ぶ態度へと高まるように指導の工夫を図ります。命の可能性、連続性、唯一性、有限性等の実感を伴う機会を増やし、「心の実り」の実現を目指してまいります。ご家庭でも秋の夜長の話題としていただければ幸いです。

今後の予定

- 10/31～11/1 修学旅行
- 11/2 シエイクアウト訓練
- 11/6 子どもアート展 (牛深総合センター)
- 11/8 小中合同避難訓練
- 11/9 つなしの会(4年生)
- 11/14 ～25校内人権旬間
- 11/20 学習発表会
- 11/21 振替休業日
- 11/25 市教委学校訪問
- 11/29 地震・火災避難訓練
- 11/30 研究会(本校会場)

集団宿泊活動

五年生が一泊二日で自然体験を伴う集団宿泊に参加しました。仲間と二日間生活を共にすることで、協力・協同といった学級の意識を高めた。絆を再認識する目的で実施しました。宿舎内での規律ある行動、計画に沿った活動など、学校生活の活用場面が多く設定されていました。クタクタになった二日間だったようですが、心で感じ、得た仲間意識、そして、それを得ることができた自分への大きな誇りを抱けた五年生であったように感じます。



シャッターチャンス



上の場面は、掃除の時間に校長室をのぞいた一年生を招き入れ、掃除の仕方を優しく教えていた五年生の姿です。とても良い光景でしたので、思わずシャッターを切りました。

くまもと家庭教育十か条 第九条 (地域全体での子育て) この子もあの子も 地域で子育て みんなの宝